

下仁田町 小中一貫外国語（英語）教育 全体構想図

小中一貫外国語教育到達目標

初歩的な英語を用いて自分の考えを伝えたり、相手の考えを理解したりすることができる。

小学生の実態

- ・コミュニケーション活動に積極的に取り組むことができる。
- ・ゲームやチャンツに意欲的に取り組み、英語特有の音に慣れ親しんでいる。
- ・既習事項の定着に課題がある。
- ・3年生から6年生までの8割以上の児童が英語の授業を楽しんでいる。

中学生の実態

- ・コミュニケーション活動に意欲的に取り組める。
- ・英語を使うことに抵抗感が少なく、友達やALTとのやりとりを楽しむことができる。
- ・友達同士のやりとりにおいても英語だけで基礎的な学力の定着や即興的に英語を用いることに課題がある。

小学校の到達目標

- ・英語特有の音声や表現に慣れ親しむ。
- ・3～4語程度の基本的な文で自己紹介をしたり、自分の考えを伝えたりすることができる。
- ・場面や状況から相手の意図を推察し、大まかな意味を理解することができる。

小中連携目標

- 中一ギャップの解消
- コミュニケーション能力の育成・発達段階に応じた異文化理解
- 一貫した生徒指導
- 教員の外国語授業への共通理解

中学校の到達目標

- ・初歩的な英語で話したり書いたりして自分の考えを表現することができる。
- ・初歩的な英語を聞いたり読んだりして話し手や書き手の考えなどを理解することができる。

英語部会

小中連携会議

具体的な取組

外国語教室の設置・運営	ALTの任用・配置	小学校担任の関わり方	勤務体制の連携	CAN-DOリストの作成	小中交流
<ul style="list-style-type: none"> ○小中ともに外国語教室を設置 ○絵カードやポキャブラリーポスターの掲示 ○電子黒板の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○ALTを小中に一人ずつ配置 ○小学校の授業は担任・小中兼務教員・ALTの三人体制で実施 ○外国語教室の運営管理は兼務教員とALTで行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童に近いモデル ○学習内容の理解度の把握と声掛け ○コミュニケーション活動の時の関わり ○児童の気づきの促し 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校の担任と小中兼務教員の打合せ時間の確保 ○指導内容や実施時間の確認 ○行事との調整 ○時数の確保等 	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校中学年から中3までのCAN-DOリストの作成 ○CAN-DOリストを活用した授業実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生の海外派遣報告、英語弁論大会代表者の発表を小学生に紹介する